

# CO<sub>2</sub>を減らして 自然もまもる！ ～滋賀のビジネスと金融、新時代へ～

2025 年  
**2月20日(木)**  
14:00～16:30  
オンライン開催



自然を守ることは、  
人々の暮らしを守ることです。

その実現には、「地球温暖化問題と  
生物多様性問題を同時に解決する」という  
発想が必要です。本セミナーでは、どうすれば豊かな自  
然を未来に残せるのか、そしてどうすれば地球温暖化対  
策と生物多様性保全はシナジー（相乗効果）を発揮でき  
るのかについて、ビジネスや金融が果たすべき役割に焦  
点を当てながらみなさんと考えます。

生物多様性問題はもちろん、地球温暖化問題に関心があ  
る方も大歓迎ですので、お気軽にご参加ください。

**定員** 100 名（オンライン）

**参加費** SGN 会員・GP プラン滋賀登録事業者・  
学生 無料 / 一般 1000 円

**主催** (一社)滋賀グリーン活動ネットワーク  
生物多様性と環境・CSR 研究会

**後援** 滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター



農林中央金庫 増岡宏和氏

**基調講演** 『気候変動と自然関連課題の同時解決に向けて  
ビジネスや地域に期待される役割』

農林中央金庫 コーポレートデザイン部  
ストラテジーグループサステナブル経営班 部長代理

増岡 宏和 氏

**取組紹介** 『「地域を幸せにする好循環」を生み出す サステナブルファイナンス』  
株式会社滋賀銀行 総合企画部 サステナブル戦略室長

山本 卓也

**質疑応答・ディスカッション**

コーディネーター 京都産業大学 経営学部 教授 宮永健太郎（研究会メンバー/SGN 運営委員）  
パネリスト 増岡 宏和 氏、山本 卓也（研究会メンバー）、千々岩 哲（(株)地域環境計画/研究会メンバー）

**お申込み方法** 下記 URL または右の二次元コードから、「申込フォーム」よりお申込みください。

※一般の方は、申込後、2/18(火)までに「参加費 1000 円」をお振込みください。

振込先：滋賀銀行 県庁支店 普通 506188 シャ)シガグリーンカサドウネットワーク

締切 2月18日(火)

<https://forms.gle/8DZUdCEqrsc9hd817>



セミナー申込み



SGN ホームページ



増岡 宏和 氏

## 増岡 宏和 (ますおか ひろかず) 氏

外貨資金調達業務、運用子会社でのファンド企画業務を経て、経営企画部門や国際金融協会への出向を通じて国際金融当局向け政策提言などを担当。その後リスク管理部門でTCFD 提言対応や環境社会リスク管理態勢の構築を含むリスク管理枠組みの企画・運用を経験。2022 年より現職。2023 年 10 月より TNFD タスクフォース・オルタネートメンバー。

### 農林中央金庫の先進的な取り組みについて

農林中央金庫は、バリューチェーンの上流・下流の双方において自然と密接な関係性があると捉え、気候・自然関連のリスク管理と機会を捕捉するための取り組みは、当金庫の事業運営や組織基盤の持続可能性に直結すると認識。気候と自然は相関関係にあり、これらに関連するリスクや機会への取り組みは一体不可分であることを踏まえ、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言、および、自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) 提言に基づき気候・自然の一体的な開示に取り組まれている。

### 《 パネリスト・コーディネーター等紹介 》

株式会社滋賀銀行 総合企画部 サステナブル戦略室長  
／研究会メンバー

#### 山本 卓也 (やまもと たくや)

1999 年 滋賀銀行に入行／2020 年 総合企画部サステナブル戦略室 広報グループ長  
／2022 年 総合企画部サステナブル戦略室サステナブル推進グループ長／2024 年 総合企画部サステナブル戦略室長



京都産業大学 経営学部 教授  
／研究会メンバー／SGN 運営委員

#### 宮永 健太郎 (みやなが けんたろう)

京都大学大学院経済学研究科修了、博士(経済学)。専門は環境ガバナンス論。著書に『持続可能な発展の話―「みんなのもの」の経済学』(岩波新書)など。



株式会社地域環境計画 名古屋支社自然環境研究室 所属  
／研究会メンバー

#### 千々岩 哲 (ちぢいわ あきら)

(株)地域環境計画では主に環境省や地方自治体による環境・農山村分野の政策支援業務に従事。日本環境動物昆虫学会生物保護と環境アセスメント部会運営委員、滋賀県生きもの総合調査委員、伊吹くらしのやくそう倶楽部所属。



## 気候変動 × 生物多様性 今、企業に求められる2つの情報開示

### ●TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) Task Force on Climate-related Financial Disclosures

TCFD は、2015 年に G20 の金融部門である金融安定理事会(FSB)によって設立された、気候変動に関連するリスクや機会を企業が開示するよう促す国際組織。気候変動が金融システムに与えるリスクを評価し、持続可能な経済への移行を促進することを目的としている。TCFD 提言では、企業に対して

- ①気候変動に関連するリスクと機会の管理方法
  - ②そのプロセスを統括する組織の構造や役割
- の開示を求めており、2021 年 10 月の改訂では、開示の必要性がさらに強調されている。

TCFD に賛同・開示することで、投資家は企業の気候変動への取り組みやリスク管理戦略を明確に把握できるようになる。これにより、投資家はより総合的なリスク評価と投資判断を行うことが可能となり、企業と投資家がより持続可能な未来へ向けて積極的な役割を果たすことができる。

### ●TNFD (自然関連財務情報開示タスクフォース) Task Force on Nature-related Financial Disclosures

企業や金融機関が、自然資本や生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価・開示するためのフレームワークを確立することを目的として設立された国際的な組織で、TCFD の生物多様性バージョンとして始動。

多くの経済活動は自然環境へ高く依存しているという背景から、「TCFD などの気候変動への対策だけでは足りない」という指摘や認識が増え、自然そのものへのリスクや機会を開示する TNFD が生まれた。



問合せ先

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク (SGN) 事務局

〒520-0807 大津市松本 1-2-1 大津合同庁舎 6 階

【TEL】077-510-3585 【FAX】077-510-3586

【Email】sgpn@oregano.ocn.ne.jp



セミナー申込フォーム